

猫健診のすすめ

～お家の猫ちゃんのこと、もっと知ってみませんか～



当院では、これまで猫さんの健診として、catドックをおすすめしてきました。catドックの内容は、身体検査・血液検査・レントゲン検査・超音波検査の4つです。特に7歳以上の猫さん（ヒトで言う50歳）は年に1回はこれらの検査で肝臓・腎臓の機能や血糖値、腫瘍の有無をチェックしておくのが理想的です。

しかし！実は猫さんの検査はもっともっとたくさんの種類があるのをご存知ですか？今回は、当院で実施可能な検査一覧をご紹介します。

猫さんの年齢やライフスタイルに合わせて、この機会に気になる項目をチェックしてみたいと思いませんか？

☆こんな検査ができます☆

血液検査項目	概要	こんな子にオススメ！
エイズ・白血病感染症検査	貧血や口内炎、免疫不全、腫瘍などを引き起こす感染症のチェックです	多頭飼育の子 お外に行く子
糸状虫抗原検査	蚊が媒介し、咳や呼吸困難を引き起こす糸状虫の感染をチェックします	お外に行く子 咳をする子
トキソプラズマ抗体検査	妊娠初期の人が感染すると胎児に影響を及ぼすおそれのあるトキソプラズマ感染をチェックします	妊婦さんと接触する可能性のある子
猫ひっかき病抗体検査	人がひっかかれると発熱やリンパ節腫脹を起こすことのあるバルトネラ感染をチェックします	
ベクター媒介疾患パネル	赤血球に寄生し、貧血を引き起こすヘモプラズマ感染をチェックします	お外に行く子 貧血のある子
SDMA	従来の検査よりも早期に腎機能の低下を発見できる検査です	中～高齢の子
甲状腺ホルモン検査	高齢猫さんに多い甲状腺の疾患をチェックできます	中～高齢の子 多飲・多尿・多食・消瘦のある子
膵特異的リパーゼ	膵炎で上昇します	よく吐く子 下痢や食欲低下のある子

血液検査項目（つづき）	概要	こんな子にオススメ！
NT-proBNP	心臓病で、心筋に負担がかかっていると上昇します	純血種（メインクーン、アメシヨ） 心臓病治療中の子
肥大型心筋症遺伝子検査	猫の肥大型心筋症に罹患しやすい遺伝子型かどうかチェックします	メインクーン ラグドール
血液型	血液型（A、B、AB）がわかります	
輸血ドナーパネル	輸血をする上で問題となる感染症の有無をチェックします	供血に協力して下さる子

その他の検査項目	概要	こんな子にオススメ！
尿検査	採尿し、尿の比重や結晶、菌の感染をチェックします	頻尿や血尿のある子 多飲多尿のある子
尿中蛋白/クレアチニン比	採尿し、尿中の蛋白を測定します 腎臓病の早期発見、治療への反応を評価するのに有用です	多飲多尿のある子 高齢の子 腎臓病治療中の子
上部呼吸器疾患・結膜炎 パネル	眼や鼻のぬぐい液を用いて呼吸器や眼疾患の原因となるウイルス・菌の感染をチェックします	目やにや鼻ぐずが気になる子
下痢パネル	便を採取し、下痢の原因となる寄生虫や菌の感染をチェックします	なかなか下痢が治らない、再発する子

補足

- ・上記の検査は予約不要です。
- ・猫ちゃんの性格によっては、可能な範囲内での検査となることがあります
- ・猫ちゃんの症状によっては、診察・治療をおすすめすることがあります
- ・ご不明な点はお相談ください

